



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 フュートレック

コード番号 2468 URL <http://www.fuetrek.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤木 英幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 嶋田 和子

TEL 06-4806-3112

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,006	3.5	153	△39.4	156	△40.0	84	△45.3
22年3月期第2四半期	972	9.3	254	45.0	260	43.8	155	48.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	1,823.98	—
22年3月期第2四半期	6,671.83	—

(注)平成21年10月1日付にて普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割いたしました。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	2,809	2,429	84.6	51,062.31
22年3月期	2,786	2,451	86.3	51,649.71

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,377百万円 22年3月期 2,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2,100.00	2,100.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	2,100.00	2,100.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	5.2	500	△5.7	500	△7.5	300	△5.0	6,442.75

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 47,296株 22年3月期 47,296株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 732株 22年3月期 732株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 46,564株 22年3月期2Q 23,282株

（注）平成21年10月1日付にて普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割いたしました。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	5
(第2四半期連結累計期間)	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善が続くもとで、企業収益や企業の景況感は引き続き改善しております。個人消費につきましても持ち直し傾向が続いており、景気は緩やかに回復していくものと思われま。

当社グループの主なビジネスマーケットであります携帯電話業界においても、回復傾向が続いており携帯電話出荷台数は2010年8月度において1,957千台と出荷前年同月比約4.7%と2ヶ月連続でプラスとなっております。

このような経済環境のもと当社グループにおいては、音声認識・UIソリューション事業分野、音源事業分野を核に積極的なビジネスを展開しました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績としましては、売上高は1,006百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は153百万円（同 39.4%減）、経常利益は156百万円（同 40.0%減）、四半期純利益は84百万円（同 45.3%減）となりました。

セグメントごとの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、次のとおりです。

第1四半期より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）を適用しております。対前年同期比伸び率は、前年度の数値を同基準に準拠して作成し、前年同期伸び率を算出して記載しております。

セグメントの名称	第10期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	第11期 第2四半期連結累計期間 (百万円)	増減 (百万円)
ライセンス	871	898	27
音声認識・UIソリューション	461	560	99
音源	409	337	△72
ライセンス以外	100	107	6
基盤	39	45	6
カード	61	62	0
売上合計	972	1,006	33

① ライセンス（音声認識・UIソリューション事業分野、音源事業分野）

売上高は898百万円（前年同期比 3.1%増）となりました。

音声認識・UIソリューション事業分野の売上高は560百万円（同 21.5%増）であり、イニシャルフィーによる収入は減少しましたが、カスタマイズ業務、ランニングロイヤルティによる収入が順調に推移したことから売上増となりました。

なお、音声認識事業分野におきましては、この技術の性能向上や新たな発展とUIソリューション事業分野との融合による新商品の開発を追求するために、研究開発を強化しており、これにともない今期より両事業分野を集約しております。

音源事業分野の売上高は337百万円（同 17.6%減）であり、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモとの音源IPライセンス契約に基づき、同社からロイヤルティ収入を得ておりますが、国内市場における音源搭載台数が伸び悩んでおり、売上減となりました。

② ライセンス以外（基盤事業分野、カード事業分野）

売上高は107百万円（前年同期比 6.7%増）となりました。

基盤事業分野の売上高は45百万円（同 15.6%増）であり、前第2四半期連結累計期間と比較し売上増となりました。

カード事業分野の売上高は62百万円（同 1.1%増）となりました。英語リスニング模擬試験用メモリーカードの書込みは前第2四半期連結累計期間と比較しほぼ横ばいであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ22百万円増加し2,809百万円となりました。

総資産の内訳は、流動資産が2,246百万円（前連結会計年度末比 107百万円増）、固定資産が563百万円（同 84百万円減）です。

流動資産の主な増加要因は、現金及び預金の増加585百万円、売掛金の減少139百万円及び仕掛品の減少129百万円によるものであり、固定資産の主な減少要因は、無形固定資産のその他70百万円の減少によるものです。

負債の部では、納税による未払法人税等の減少104百万円、短期借入金の増加200百万円等により380百万円（同45百万円増）となりました。

純資産の部では、配当金支払等による利益剰余金の減少12百万円等により2,429百万円（同22百万円減）となりました。

（連結キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ385百万円増加し1,795百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの概況は次のとおりです。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」

営業活動の結果得られた資金は349百万円（前年同四半期は212百万円の獲得）となりました。

これは、主な増加要因としまして税金等調整前四半期純利益156百万円の計上と非資金費用である減価償却費119百万円、売上債権の減少139百万円及びたな卸資産の減少129百万円によります。減少要因としましては、法人税等の支払149百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」

投資活動の結果使用した資金は64百万円（前年同四半期は135百万円の使用）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出12百万円、無形固定資産の取得による支出35百万円及び投資有価証券の取得による支出19百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」

財務活動の結果得られた資金は100百万円（前年同四半期は62百万円の使用）となりました。

これは、主に短期借入れによる収入200百万円及び配当金の支払（少数株主への配当金を含む）99百万円等によるものです。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結業績は、音声認識・UIソリューション事業分野を中心に順調に推移しており、また当社グループの主なビジネスマーケットである携帯電話業界が回復基調にあることから、通期連結業績の予想につきましては、平成22年5月7日公表の数値から変更はございません。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更に伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

② 表示方法の変更

（四半期連結貸借対照表）

前第2四半期連結累計期間において区分掲記していた「ソフトウェア」は、その金額が資産の総額の合計額の100分の10以下となったため、無形固定資産の「その他」に含めて表示しております。

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

（連結キャッシュ・フロー計算書）

前第2四半期連結累計期間において区分掲記していた「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「未払金の増減額」は、当第2四半期連結累計期間において、重要性が乏しいため「その他」に含めております。

- (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	995,506	409,904
売掛金	389,137	528,637
有価証券	800,000	1,000,000
仕掛品	17,095	146,415
その他	45,728	55,499
貸倒引当金	△1,195	△1,647
流動資産合計	2,246,272	2,138,810
固定資産		
有形固定資産	67,345	69,718
無形固定資産		
のれん	55,430	59,617
ソフトウェア	—	345,135
その他	276,654	1,861
無形固定資産合計	332,085	406,614
投資その他の資産	164,096	171,831
固定資産合計	563,527	648,164
資産合計	2,809,799	2,786,974
負債の部		
流動負債		
買掛金	34,921	72,959
短期借入金	200,000	—
未払法人税等	48,816	153,184
賞与引当金	35,218	35,128
その他	60,416	72,609
流動負債合計	379,373	333,883
固定負債		
リース債務	1,048	1,338
固定負債合計	1,048	1,338
負債合計	380,421	335,221
純資産の部		
株主資本		
資本金	716,570	716,570
資本剰余金	914,795	914,795
利益剰余金	829,862	842,715
自己株式	△69,963	△69,963
株主資本合計	2,391,263	2,404,116
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△13,598	900
評価・換算差額等合計	△13,598	900
少数株主持分	51,712	46,735
純資産合計	2,429,378	2,451,753
負債純資産合計	2,809,799	2,786,974

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	972,390	1,006,177
売上原価	417,891	489,954
売上総利益	554,498	516,223
販売費及び一般管理費	300,462	362,388
営業利益	254,035	153,834
営業外収益		
受取利息	2,588	1,840
受取配当金	—	250
助成金収入	3,300	—
その他	1,299	458
営業外収益合計	7,187	2,548
営業外費用		
支払利息	40	62
支払手数料	585	—
営業外費用合計	626	62
経常利益	260,597	156,321
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	400
特別利益合計	—	400
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	240
特別損失合計	—	240
税金等調整前四半期純利益	260,597	156,481
法人税、住民税及び事業税	103,443	47,320
法人税等調整額	1,044	16,532
法人税等合計	104,487	63,852
少数株主損益調整前四半期純利益	—	92,628
少数株主利益	775	7,697
四半期純利益	155,333	84,931

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	260,597	156,481
減価償却費	124,352	119,713
のれん償却額	4,186	4,186
貸倒引当金の増減額(△は減少)	233	△451
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,905	89
受取利息及び受取配当金	△2,588	△2,090
支払利息	40	62
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	240
売上債権の増減額(△は増加)	△75,309	139,499
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,079	129,320
仕入債務の増減額(△は減少)	23,915	△38,037
未払金の増減額(△は減少)	△6,791	—
その他	13,192	△12,424
小計	334,657	496,589
利息及び配当金の受取額	2,473	2,495
利息の支払額	△40	△510
法人税等の支払額	△124,957	△149,318
営業活動によるキャッシュ・フロー	212,132	349,256
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△15,463	△12,959
無形固定資産の取得による支出	△119,466	△35,036
投資有価証券の取得による支出	—	△19,002
その他	△814	2,878
投資活動によるキャッシュ・フロー	△135,745	△64,119
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	200,000
配当金の支払額	△62,064	△96,533
少数株主への配当金の支払額	—	△2,720
その他	△274	△282
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,339	100,464
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	14,048	385,601
現金及び現金同等物の期首残高	1,423,162	1,409,904
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,437,210	1,795,506

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当連結グループは同一セグメントに属するソフトウェア及びL S I の設計開発を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に技術本部、営業本部、管理本部の各本部を置き、「ライセンス事業」を中心に事業活動を展開しており、「ライセンス事業」と「ライセンス以外の事業」を報告セグメントとしております。

「ライセンス事業」は、ソフトウェア分野を中心とした製品開発及び研究開発を行い、当社で開発・設計したものを知的財産権化する事業を行っております。

「ライセンス以外の事業」は、教育市場・携帯電話市場に対しコンテンツをメモリーカードに書込むサービスの企画運営を行うカード事業分野及び受託開発と車載用ソフトウェア開発を行う基盤事業分野であります。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

（単位：百万円）

	ライセンス	ライセンス以外	合計
売上高			
外部顧客への売上高	898	107	1,006
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	898	107	1,006
セグメント利益又は損失（△）	162	△8	153

（注）セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。